

## 概要：“LAH.C620: グローカル・ドクター日本 Y2” のシラバス

### 講義の概要とねらい

本科目のねらいは、履修者が先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、異分野の研究者と協力して、修士課程、博士後期課程、他大学大学院学生等の「知の交流」を促進する場を創造するところにある。

本科目が養う履修者の力は、

- (1) 社会的課題に専門性をもって取り組む力
- (2) 多様なバックグラウンドを持つメンバーと共同研究をする力
- (3) 研究者倫理・行動規範を理解し実践する力
- (4) 知的交流の場を創造する力

である。そして、博士後期課程の学生を中心とした本学の人的ネットワークの創出と拡充を期待している。

### 到達目標

本科目の履修を通じて、学生は以下の能力を身に付ける。

- 1) 学際的・先端的なテーマの研究を行う。
- 2) 異なる学問分野、留学生とのグループワークにおいて英語等のコミュニケーションを行う。
- 3) 学会のポスターセッション・スタイルで、グループワークの成果を発表する。
- 4) 研究者としてのリーダーシップ・学際性・コミュニケーション力。
- 5) 社会的課題に専門性をもって取り組む。
- 6) 多様なバックグラウンドを持つメンバーと共同研究をする。
- 7) 研究者倫理・行動規範を理解し実践する。
- 8) 知的交流の場を創造する。
- 9) 博士後期課程の学生を中心とした本学の人的ネットワークの創出と拡充に貢献する。

### キーワード

グループワーク、リーダーシップ、協働、研究者倫理、社会的課題

### 学生が身につける力(ディグリー・ポリシー)

- |                 |                 |              |
|-----------------|-----------------|--------------|
| ✓ 専門力           | ✓ 教養力           | ✓ コミュニケーション力 |
| ✓ 展開力(探究力又は設定力) | ✓ 展開力(実践力又は解決力) |              |

### 授業の進め方

履修者数は「LAH.A542: グローカル日本 Y2」と合わせて最大 40 名。履修制限をする場合がある（履修条件およびその他を参照）。

2022 年 2 月 22 日から 3 月 3 日までの間の 4 日間に 7 回のセッションを行う（授業計画を参照）。

テーマ：ひとのためのデザイン：水の保全と利活用

セッションはすべて Zoom を使用してオンラインで実施します。

### 授業計画・課題

授業計画	課題
第 1 日：2022 年 2 月 22 日（火） ・セッション 1：09:00-11:00（午前） ・セッション 2：16:00-17:00	第 1 日 “知的財産保護”の提出 “TAPP のアイデア”の提出 “チームのメンバーと連絡手段”の提出 “TAPP のプレゼンテーションの概要”の提出

<p>第2日：2022年2月24日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セッション3：09:00-11:00（午前）</li> <li>・セッション4：16:00-17:00</li> </ul> <p>第3日：2022年3月1日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セッション5：09:00-11:00（午前）</li> <li>・セッション6：16:00-18:00</li> </ul> <p>第4日：2022年3月3日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セッション7：09:00-11:00（午前）</li> </ul>	<p>第2日</p> <p>“チームの3つの行動規範”の提出  “TPPTのアイデア”の提出  “チームによるTPPTの取組課題”の提出  “チームによるTPPTの作成のための役割とスケジュール”の提出  “TPPTのチームと個人の成果”の提出</p> <p>第3日</p> <p>“ポスターとプレゼンテーションのコツ”の提出  “チームによるTPPTのチーム発表の概要”の提出  “チームによるTPPTのポスター”の提出</p> <p>第4日</p> <p>“査読シート”の提出  “コメントシート”の提出  “コメントに対するチームからの応答”の提出  “改訂版の概要と改訂版のポスターの提出”の提出</p>
--	--

## 教科書

なし

## 参考書、講義資料等

Kosoen（壺草苑）（日本語）

<https://kosoen.com/> [最終確認日 2021年1月20日]

Japanese Indigo Dyeing: “Aizome”

<https://kosoen.com/eng> [最終確認日 2021年1月19日]

Hamura Intake Weir（羽村取水堰）（ウィキペディア日本語版）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/羽村取水堰> [最終確認日 2021年1月20日]

Tamagawa Aueduct（ウィキペディア英語版）

[https://en.wikipedia.org/wiki/Tamagawa\\_Aqueduct](https://en.wikipedia.org/wiki/Tamagawa_Aqueduct) [最終確認日 2021年1月19日]

玉川上水（ウィキペディア日本語版）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/玉川上水> [最終確認日 2021年1月20日]

“Basic concept of groundwater use in cities - Good relationships with groundwater”（日本語）

『都市における地下水利用の基本的考え方〔地下水と上手につき合うために〕』（日本語）（西垣誠監修、共生型地下水技術活用研究会編、（社）全国地質調査業協会連合会共生型地下水技術活用研究会発行、2007）

<https://www.zenchiren.or.jp/market/pdf/c080226.pdf> [最終確認日 2021年1月20日]

"Delicious water with 100% groundwater"（日本語），Akishima City, Latest Revision November 13, 2019

『地下水100%の美味しい水』、昭島市、2019.11.13更新

<https://www.city.akishima.lg.jp/s108/010/050/20140904152016.html> [最終確認日 2021年1月20日]

“Marine Plastic Litter,” Ministry of Foreign Affairs of Japan

[https://www.mofa.go.jp/ic/ge/page25e\\_000309.html](https://www.mofa.go.jp/ic/ge/page25e_000309.html) [最終確認日 2021年1月19日]

## 成績評価の基準及び方法

すべてのセッションへの参加、課題、チームへの貢献、発表

### 関連する科目

LAH.A541 : グローカル日本 Y1

LAH.A542 : グローカル日本 Y2

LAH.C619 : グローカル・ドクター日本 Y1

### 履修の条件(知識・技能・履修済科目等)

別途応募様式を提出（書類選考あり）。

すべてのセッションに参加すること。

連絡先（メール、電話番号） ※"[at]"を"@"(半角)に変換してください。

spring2022[at]ggs.shs.ens.titech.ac.jp

### オフィスアワー

メールでアポイントメントを取ること。

（参考）グローカルスクール専用ウェブサイト：

<http://www.ggs.shs.ens.titech.ac.jp/>